



2014年(平成26年)3月期 上半期決算発表

<http://www.daiohs.com>

日本証券アナリスト協会
2013年11月13日



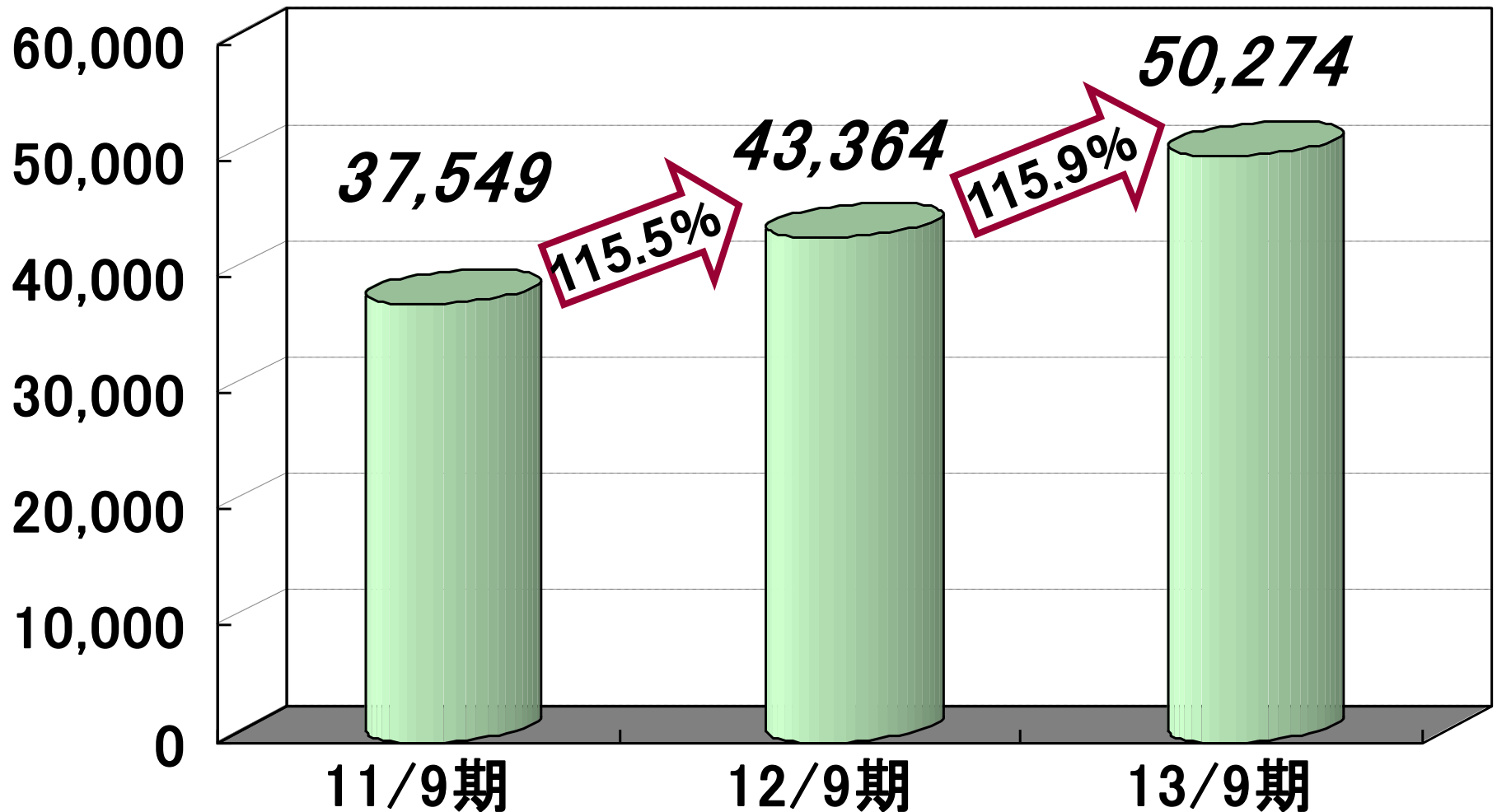


上半期の業績とトピックス

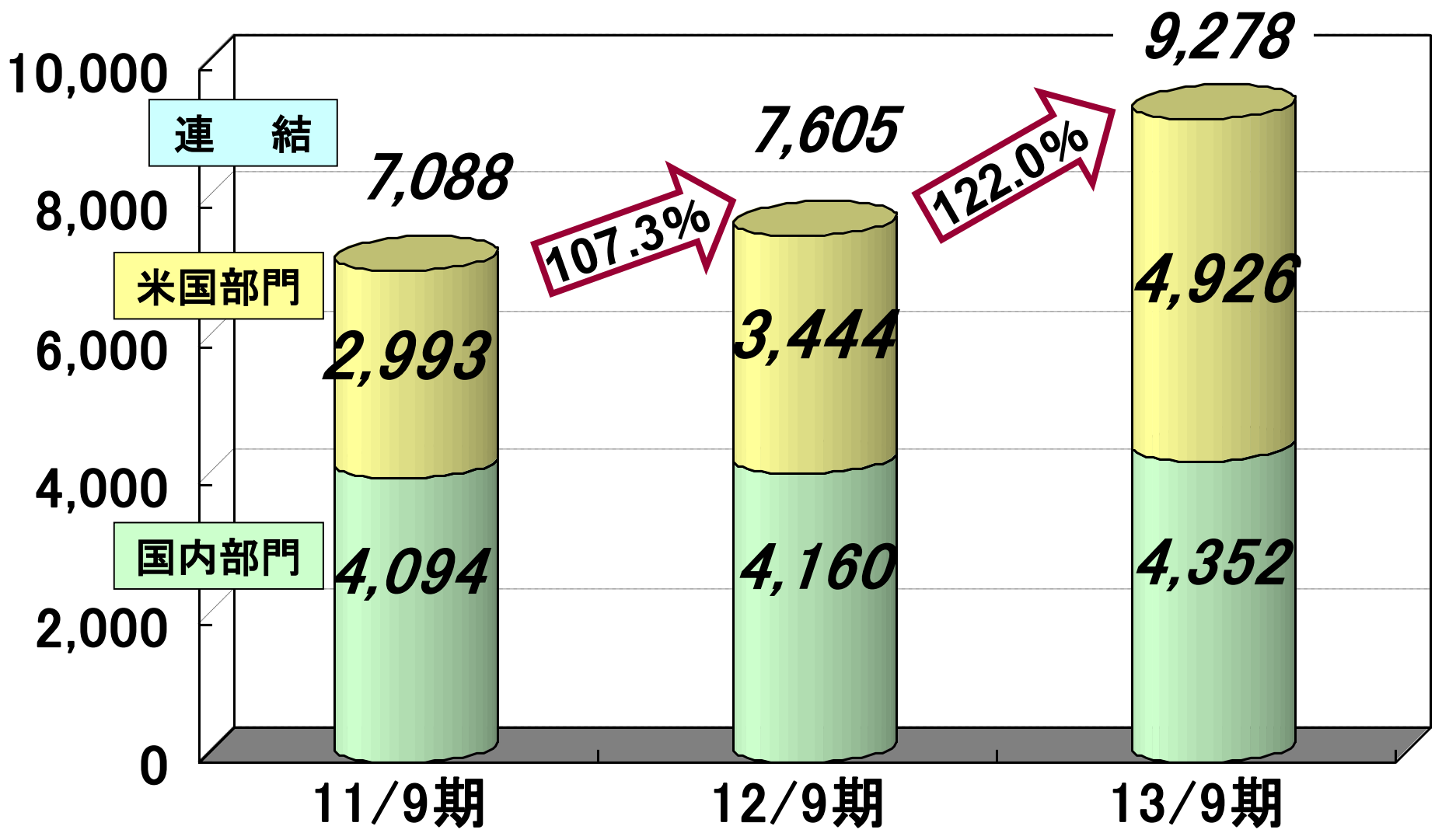
<http://www.daiohs.com>



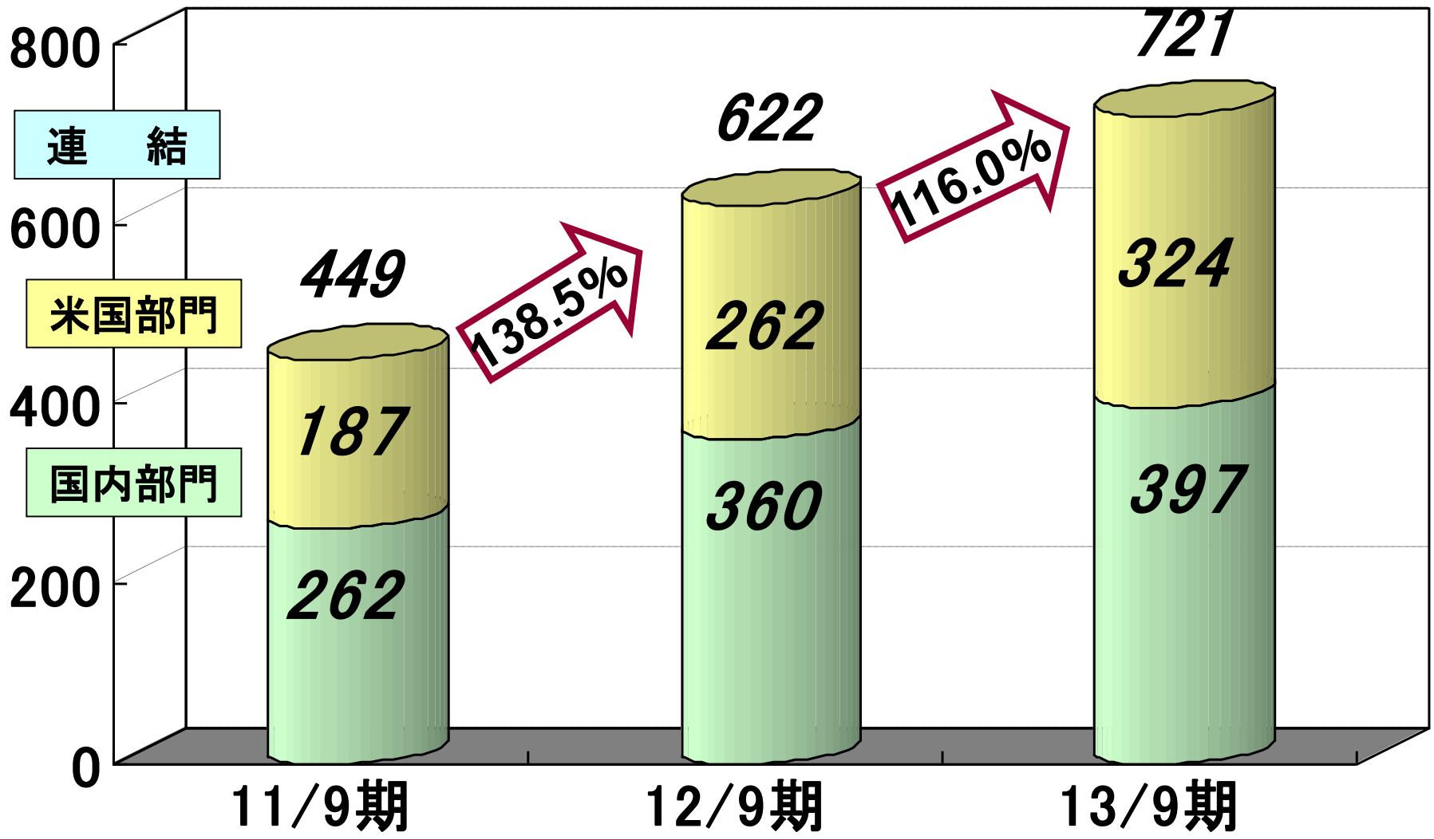
(単位:千米ドル)



(単位: 百万円)



(単位:百万円)



(単位:百万円)

	実績	前期比
売上高	9,278	122.0%
		売上比
営業利益	721	7.8%
経常利益	748	8.1%
当期純利益	427	4.6%
自己資本比率	79.1%	
配当利回り	2.1%	(11月12日終値ベース)

上半期における過去最高益を更新

- 拠点運営と既存顧客別管理システムにおける「仕組みの統一」により高収益体質を実現。



上半期における3期連続増収を達成

- ボトルサーバー、ティーサーバー、ダストコントロール事業の契約数が堅調に増加。
- ダイオーズカバーオール事業で過去最高の加盟数。



東海岸への進出

- 当社初の米国東海岸拠点となるワシントンDCの同業をM&A統合、支店を開設。
- ヒューストンで3件の中規模M&Aを実施。



3期連続の二桁成長(ドルベース)

- 総売上高(ドルベース)対前年比115.9%。
- 既存拠点も順調に推移。
- 営業利益は対前年比100.4%(ドルベース)。
- 営業権償却費用を除く営業利益は対前年比115.0%(ドルベース)。



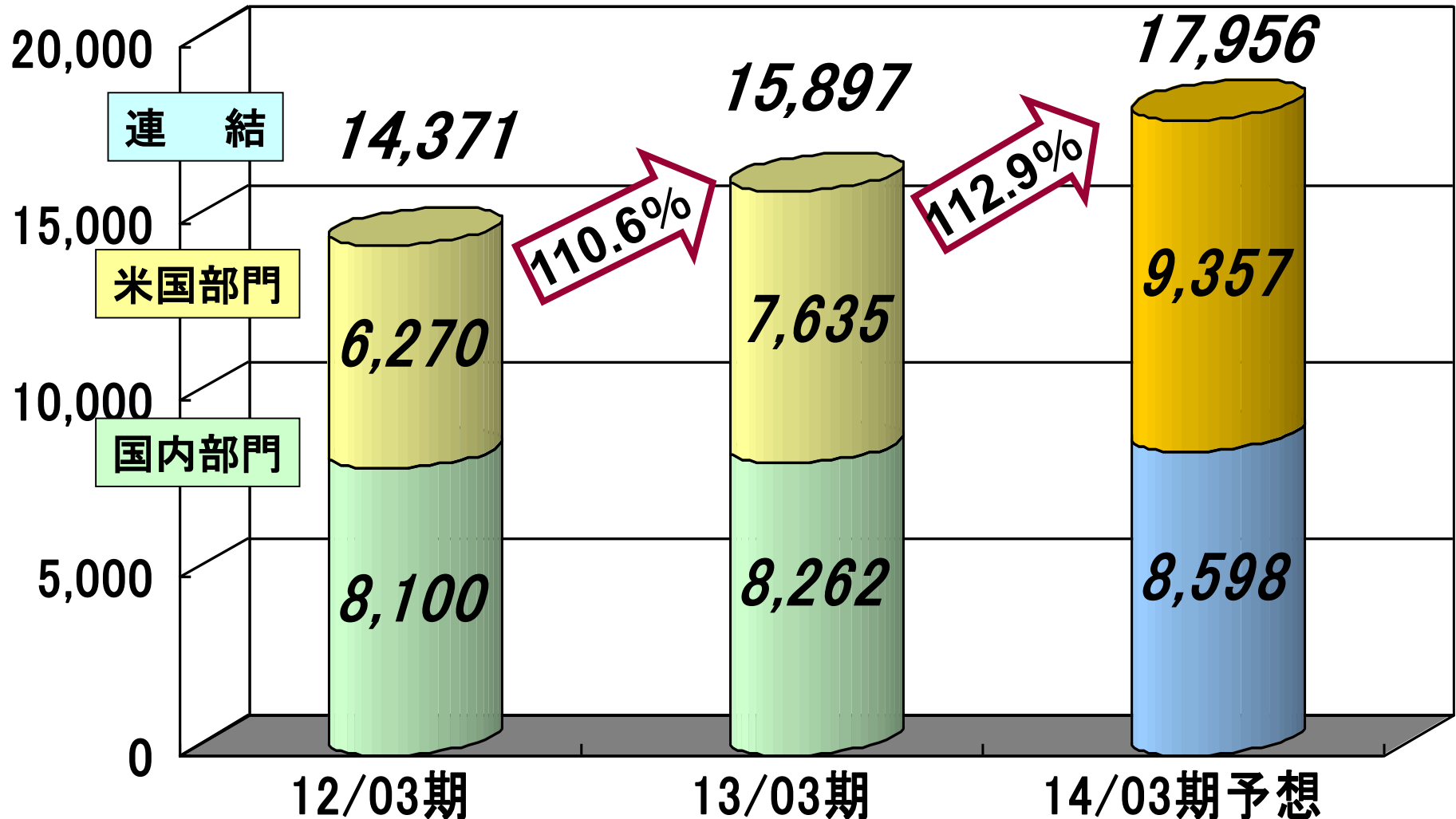


通期業績予想と 下半期重点政策

<http://www.daiohs.com>

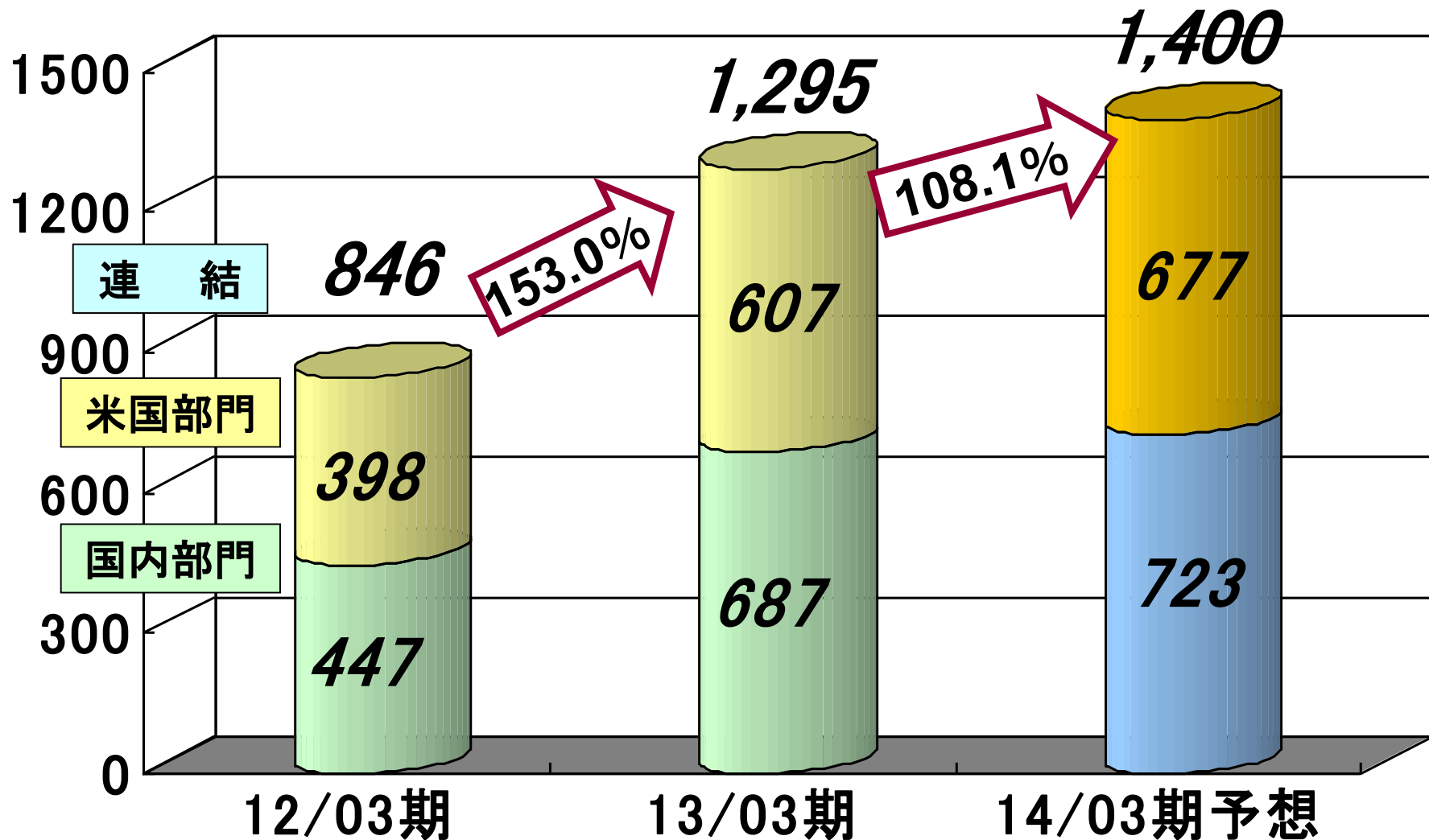


想定レート 1\$ = 95円 (単位: 百万円)

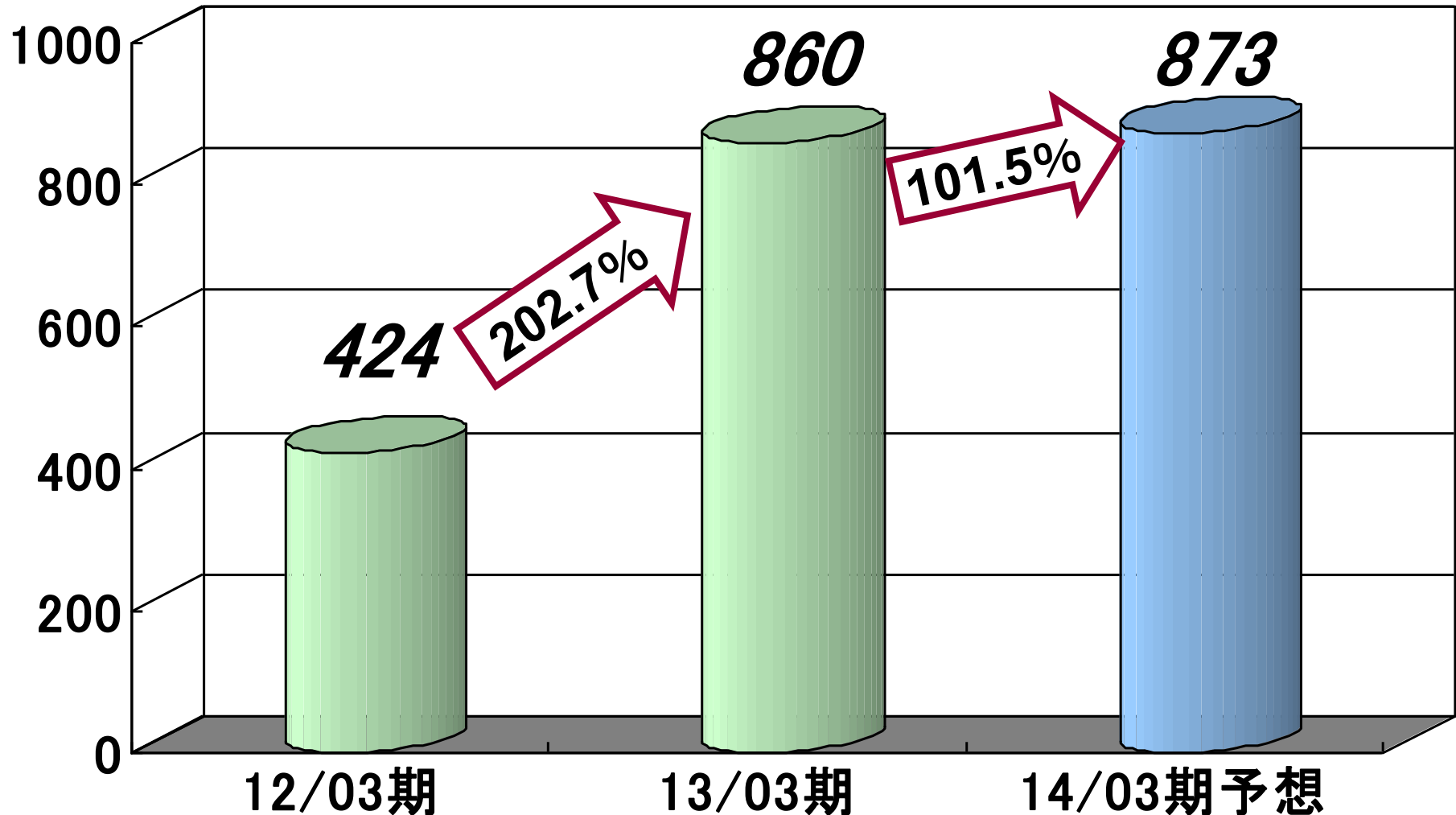


想定レート 1\$ = 95円

(単位: 百万円)



想定レート 1\$ = 95円 (単位: 百万円)



シェア率の低いエリアにも営業展開

- 「郊外型営業所」の出店と地域特性に合わせた販促。



- 顧客のニーズに応える為の新商品の積極開発及び新規事業の導入。



収益重視型拠点の生産性向上

- 売上規模別モデル経営を継続実施。
→ 更なる生産性向上を目指す。
- 利益向上に貢献するM&A案件を選別して実行する。
- 先行投資を要する新規出店のためにも、成熟拠点の利益増加継続が必要。



管理・拠点サポート体制の構築

- 全米展開を見据え、中・東部管理拠点（シカゴ）と米国本社（ロサンゼルス）に東西分離設置。



商号	株式会社ダイオーズ
証券コード	4653
創業	1969年6月
代表者	代表取締役社長 大久保 真一
本社	東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービル23階
資本金	10億51百万円(2013年9月30日現在)
事業内容	トータルオフィスサービス事業を営む連結子会社2社の純粋持株会社
売上高	158億97万円(2013年3月期 連結)
経常利益	13億84百万円(2013年3月期 連結)
従業員数	975名(2013年3月期 連結 フルタイムー換算)
決算期	3月31日



Daiohs

株式会社 **ダイオーズ**